

EX.VIEW

'99/春の新商品ご案内





インタビュー (社) 日本建築ブロック・エクステリア工事業協会 (jabec)
静岡県本部長 玉井 道夫氏

協会の地位向上により 明るい業界の将来を展望する

玉井 道夫氏

静岡サントクハウス株式会社 社長

昭和34年 早稲田大学商学部卒 旭コンクリート工業(株)入社

昭和49年 静岡サントクハウス(株)設立 現在に至る

■昭和55年 静岡エクステリア事業協同組合設立を経て静岡県エクステリア建設業協会設立等 業界発展に貢献 jabec中央本部広報委員長 静岡県本部長
趣味は謡曲(宝生流師範)・釣り・ゴルフ



平成7年6月、日本エクステリア建設業協会と日本ブロック工事業組合が合併して(社)日本建築ブロック・エクステリア工事業協会がつくられ、新たな社団法人として活動が開始されました。そして、建設省で、これまで単なる雑工事として扱われてきたエクステリアが、建設工事の一つの関連工事として正式に認知されることとなりました。これは業界にとって画期的で大きな躍進となるものです。

ブロック塀診断士の活動に 業界の活路を見出だす

地震多発地域である静岡県が災害防止に格別の力を注いできたことは周知のことです。その静岡市で、阪神大震災後あらためて市内のブロック塀16000カ所を調査したところ、その内容に8000カ所で転倒の危険があることが判明しました。丁度そのころです。建設省が当協会のことを全国の各行政関係部署に通知され、それを受けた静岡県から早速、当協会静岡県本部に相談依頼があったのです。それは、既存のブロック塀の危険度判定に関する内容でした。具体的には既存の塀を見直し危険度の診断をして、危険とみなされるブロック塀については、改修するなり、撤去するなり、いずれかの方向へ持っていけるような制度を、この際確立したいというものでした。

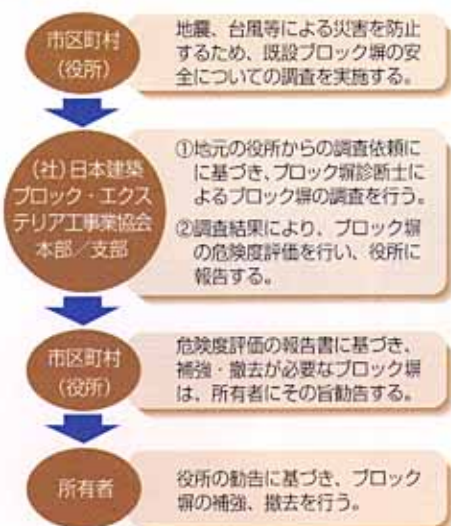
その意をうけた協会中央本部では、従来のブロック工事士とエクステリアプラ

ンナーの二つの資格に加えて、一年の準備期間を経て「ブロック塀診断士」資格を新しくつくり、専門家の統一された見解のもとに塀の診断を行うこととしました。この制度が発足して半年足らずで、全国に400人以上の診断士が続々誕生し、既に多数の診断を実施しています。

静岡県全域で「ブロック塀等耐震改修事業費補助金交付制度」がスタート!

地震多発の静岡県、また診断士制度発足のそもそものいきさつもあって、静岡県では全国に先駆けてこの補助金交付制度が県内の主要都市で早々に制定されました。

●ブロック塀診断…調査から補強までの流れ



それに触発されてでしょうか?茨城県土浦市市議会で「ブロック塀対策」が熱心

に議論されたと聞きます。こうした動きが一日も早く全国に広がって行くことを強く望みたい…そうしてより多くの人たちや行政が「ブロック塀」を見直すようになれば、ブロック塀診断士の必要性が高まり、活躍の場が増え、エクステリア業界としても、リフォームの一環として新しい分野の事業が開けてきますからね…。

ランドスケープ業界への成長を目指して

「エクステリア」が専門職・専門業界として世に広く認識され、オフィシャルな立場で行政との信頼関係が深まれば、近い将来には環境整備や公園づくりや街づくり等、公共工事の依頼がダイレクトに来ると確信します。そして販工店さん同士でJ.V.を組み、それぞれ専門集団ならではの景観づくりをする!これが私が描く理想のシナリオです。

そのためにも今後はますます同じ志を持った会員の増強が課題となります。これを機に全国の販工店さんにも積極的に加入してもらいたいですね。

これからの当協会の活動として注目して欲しいのは、エクステリア関連の専門誌の出版とホームページの開設です。特にエクステリア関連の専門誌では、施工者側からの視点をふんだんに取り入れた、これまでにはないものにしていきたいと考えています。

ますます未来を見つめていかなければいけませんね。協会のマークのように…。



協会マーク
「未来を見つめる目」

INDEX

- インタビュー/jabec静岡県本部長 玉井 道夫氏 -1
- 設計ノート/有限会社 いのうえ商事 -2
- 設計ノート/株式会社 ウエシン -3
- 設計ノート/グリーンライフ産業株式会社 -4
- '99年春 新商品ダイジェスト -5
- 御庭会通信 -表4



岡山県赤松郡 S 様邸



改装前



門から右手に続くガーデン（1期工事）



1期・2期工事を経た門まわり



有限会社 いのうえ商事

代表取締役 井上哲才氏 岡山県赤松郡

人を誘う 温かい空気が流れるエクステリア

この物件は、住宅も外構も既に完成していたのですが、施主様が当社の手がけたエクステリア空間をどこかご覧になり「是非“いのうえ流”のレンガを使った庭にしたい」と依頼を受け、外構部分をやり直した特殊なケースです。しかも車が2台から3台に増えたため、5年の間に2度の工事をしています。

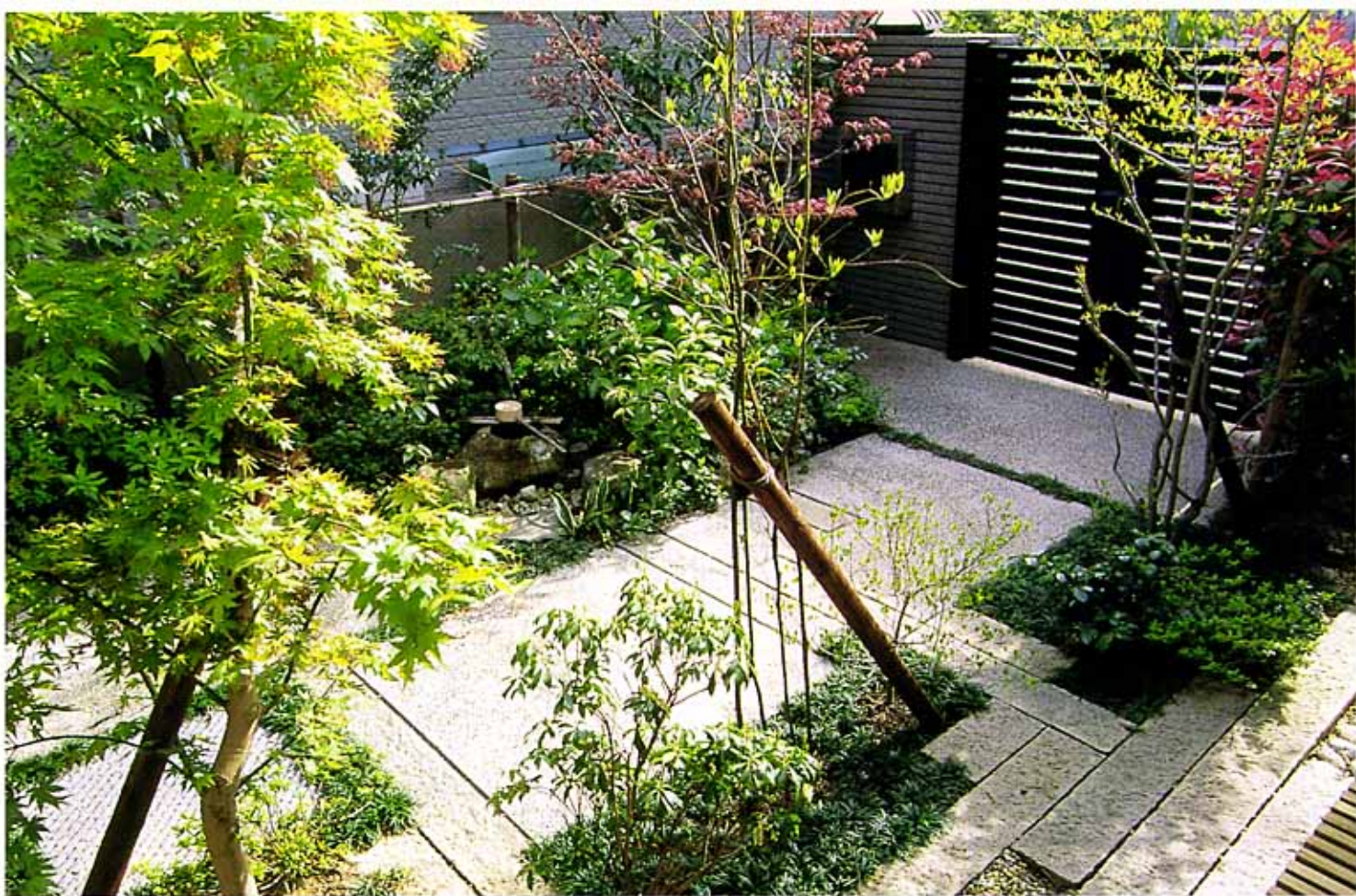
1期工事では、駐車スペース、アプローチ、庭の3つの要素で構成される空間を作りました。門袖や階段、バーベキューコーナー、道路と駐車スペースの境界部分等にバランス良くレンガを配置したので、それぞれの空間がバラバラにならず、同じ空気が行き来しているように表現できたと思います。

また、バーベキューコーナーでは何点が工夫しました。ひとつはピングルームからそのままバーベキューコーナーへ歩いて行ける設計にしたこと、もうひとつはバーベキュー炉の形を扇形にしていることです。扇形にした理由は、狭いスペー

スでもより多くの方が炉の回りに集まることができるためと、庭全体の柔らかい雰囲気を保つためです。

一方、駐車スペースを広げた2期工事では、これまでのイメージを壊さないことに注意しました。特に、駐車スペースはアプローチと隣接していることから、最初にアプローチに持たせた“人を優しく迎え入れる表情”を壊さないことが課題で、それを、アールをふんだんに取り入れることによって解決しています。また、取り壊して新しくつくるレンガの構造物に関しては、古いものに類似した色や質感のものを使用して、双方の感じに不自然さが生じないようにしています。

レンガを研究し、レンガを知り尽くすことで、アルミや鋳物、竹等の異種素材とのより美しい調和が創り出せ、ひいては全く新しいタイプのエクステリア空間の創造も可能だと考えています。



神戸市 O様邸

自然の中の小径をイメージしたアプローチ



ランダムに敷石を配置した駐車スペース



玄関ホールを飾る絵のような中庭



株式会社 ウエシン
代表取締役 松田 真一氏 兵庫県神戸市

自然を多彩に感じさせるエクステリアを提案

この住宅は“自然を意識させる”ことをコンセプトに設計しています。駐車スペースと一体となるアプローチには敷石をランダムに配置し、石をきっちり敷き詰めることはしていません。「敷石の間から草が生えれば、草むしりをしよう」という発想です。ただし、敷石が目立つように石の周辺に溝を掘るなどデザイン上の配慮はしています。

また、門から玄関、玄関から庭に続く通路の植木にも、何本かは成長とともに枝が張り出すものを選んでいきます。歩きにくくなるのですが、山歩きのように手で枝をはらう行為が自然を感じさせることにもなります。同様に自然の感覚を味わう発想で、道路に面した植栽も高さを一定にしていません。花もあつたりなかったり、季節ごとにいろいろな表情を見せてくれる楽しみを持たせています。エクステリアにはそうしたストーリーが大切だと考えています。この意味合いから、施

主様には工事中から「家づくり＝暮らしづくり」にご参加いただきます。例えば植木やレンガを一緒に見にいき、アドバイスし、決定を施主様に託します。そうすれば「自分で住まいや庭の素材を選んだ」という満足をお届けできます。

この住宅で特筆すべきところは、中から鑑賞するエクステリアです。玄関ホールの正面は空からの光を取り入れるFixガラスなのですが、その向こうの空間を内側に引き込むことを試んでいます。ガラスと同じ幅でアールのスチールパネル（朱色）を屏ぎわに屏風のようにしつらえ、その前に一本の木を植え、一枚の絵のような空間を創りました。玄関の扉を開けたときに思わず目に入る、感動的なエクステリア空間です。

これからただ目立つというのではなく、素敵な目印のある家を創っていきたくと考えています。



福岡市 T様邸

左手の玄関アプローチから茶庭につながる



洋風住宅に和の味わいを添える門扉



グリーンライフ産業株式会社
代表取締役 中村和男氏 福岡県福岡市

エクステリアが実現した洋風住宅と茶庭の妙

これからは、景観が住宅の価値を高めていく時代になるので、我々エクステリア業界も「家庭」という言葉が示す、家と庭…すなわち敷地全体をトータルに考え、施主様に「プロとしてのアドバイスができるように成長していかなければいけない」と思っています。

施主様のご希望は「茶庭がほしい」というものでしたが、通路にしかならない狭い空間と、住宅の外観がまるっきり洋風であることがネックとなり、課題は「狭いスペースの中でいかに洋と和を調和させ、茶庭を実現するか」に絞られました。そこで門からアプローチ、そして奥へとつながる空間に少しずつ和のテイストを取り入れて、自然な流れで茶庭に通じることをイメージし、アプローチから庭に向かってより強く和のテイストを出すようにつくりました。まず隣家との境界部分には和の植栽として竹と笹を用いています。これは敷地の向こうに控える竹林との自然な一体感を出すことにも成功しています。

特に工夫した点は“いかに広く見せるか”と、庭を鑑賞するとき“洋の要素を混ぜない”ことです。広く見せるためには、敷地のコーナーをたっぷりの植栽で隠し、まだ奥があるように感じられる方法をとりました。洋の要素を抑える方法は、庭に視線を集めることだと考え、小さいながらも茶庭の決まり事をきっちり押さえた完成度の高い庭に仕上げました。夜間にはさらに視線が集中するライトアップの演出もしています。

今回、予想以上の効果を発揮しているのが門扉です。洋とも和ともイメージを限定しない御影石のアクセントを施したデザインを選びましたが、うまく洋の中に和のテイストを予感させ、この住宅を象徴するイメージが表の顔となる門扉で表現できていると思います。

(グリーンライフ産業(株) ガーデニングプランナー 林 美保子氏)



門から玄関へ 敷石のアプローチ



枝折戸から茶庭へ

Tea Time ロンドンレポート

ロンドン郊外、美しい住宅街にお住まい(敷地400坪)の日本人大沼さんに伺った イギリス人とガーデンについてのお話……



ガーデニングとネイバーウォッチングエリア (Neighbor Watching Area)

雑誌などで良く紹介される華やかな「イングリッシュガーデン」の陰には、実は大変な苦勞があります。私が暮らす住宅街もそうなのですが、“ネイバーウォッチングエリア”というイギリス特有の決まりがあって、街並みを美しく保つために、エリアの住民すべてが庭の手入れを義務づけられています。まるで住民同士が監視し合う感じで、手入れを怠って雑草が生い茂ると、すぐさま、まわりから注意されることとなります。

そのため、花が咲き始める3月から11月初旬まで、週末はガーデンセンター行きと庭の手入れに明け暮れます。しかしイギリス人は「街並みを美しくすることが暮らしを豊かにする」と考えていて、このようなライフスタイルがしっかり根づいているのです。



本物の質感と植栽が織りなすハーモニー
美観・納まり・耐久性・施工性に優れ
豊かなガーデンライフをお届けするシリーズです



ユニットを組み立てる簡単施工…
スペースやイメージに合わせて
多彩なデザインをご提案いただけます

施主様の暮らしにフィットし、植栽に美しく調和する6シリーズです。

- ブリックシリーズ 古レンガ調のタイル意匠をベースとした商品群
- キャストシリーズ 鋳物素材をベースとした商品群
- ウッドシリーズ 木素材をベースとした商品群
- メッシュシリーズ スチールメッシュ素材をベースとした商品群
- セラミックシリーズ セラミック素材(陶管)をベースとした商品群
- ファニチャー&グッズシリーズ ガーデニングをサポートする商品群



- 鋳物門扉タンゾーネA型 ●門柱1型 ●花台1型
- キャストシリーズ ブリックシリーズ



- 植升 ●ポール ●照明ポール ●アーチR型 ●トレリスタイプ ●ファニチャー
- セラミックシリーズ ウッドシリーズ メッシュシリーズ ファニチャー&グッズシリーズ



カーポートエクレージ

前下がりのデザインが住宅外観に美しくマッチ

ポールゲートとの組み合わせにより、限られたスペースも有効に利用できます。



ポールゲートシリーズ (写真はK3型)

これは便利！レールの上をポールが走る

シンプルなポールタイプや高級感のある鋳物タイプまで、バリエーションも豊富。



さらさら 紗更「坪庭」シリーズ

和の伝統的な情緒を簡単施工で実現

本格的な意匠の樹脂竹垣パネルを豊富に揃え、アルミ型材の支柱や枠材、庭石や玉石・灯籠や行灯を自由に組み合わせることにより、様々な「坪庭」を演出できます。

*屋内専用タイプ

ウォールエクステリア



テラス囲い晴れもよう (イラストは土間タイプ)

*土間タイプ

方立なし・低い下枠の使いやすさ

引戸を全開すれば大きな開口…お庭との段差がわずかな土間タイプはガーデニングルームやユーティリティに…デッキ材タイプはホブスペースと用途も様々です。



ウッドデッキニューオプテージ

健康と安全を考えた心地よいウッドデッキ

現場加工が不要でバルコニー感覚で取り付けできる、人に優しく自然に優しい、新しいオープンステージの登場です。

おにわかい つうしん
御庭会通信



会員を交えてのディスカッション

●東海御庭会 開催———3月17日 浜松名鉄ホテル

東海地区で実施された「'98 プランニング&施工コンテスト」の表彰が行われた。……金賞は(有)サンコーハウジング様
また群馬御庭会の会長、副会長をゲストに迎え、今後の物件確保や販売促進について、会員を交えてのディスカッションが行われた。

●中国御庭会 開催———4月16日 リーガロイヤルホテル広島

エクステリアの'99春の新商品である「ガーデンウォール」シリーズを紹介し、あわせて御庭番 VER 7.0の概要説明が行われた。

タウンスケープデザイナーとよだ みき先生 講演会実施



講演中のとよだ先生



上記 東海御庭会および中国御庭会において、現在テレビ、雑誌等でご活躍のタウンスケープデザイナー とよだ みき先生による講演会が実施された。テーマは「ガーデンデザインの現状と今後の方向性」と題し、ガーデンデザインのポイントや、日本の街並み・景観の今後のあり方について、豊富な事例をもとに熱く語られた。

おにわばん
御庭番スタッフ紹介

大阪府交野市星田 株式会社 グリーン京阪

「日々の発見と難しい設計条件の克服が喜び…使いやすい御庭番が頼りです」



設計部の小嶋様(左) 水口様(右)

水口 勇登様

まだ2年目を迎えたばかりの新参者ですが、鍛えられてお客様のニーズにお応えできるようになってきました。「楽しく暮らしていただく」ことをテーマに設計しています。

特にプランそれぞれに、1カ所は個性のある魅力的な空間をご提案する事を心がけています。仕事での喜びは“困難な条件を上手く処理できたとき”…今は「仕事が趣味」といえばカッコウをつけすぎでしょうか！

皆さまのご指導と情報交換をお願いします。

E-mail:yuto@col.hi-ho.ne.jp

小嶋 知孝様

こちらはホヤホヤの新人で、全てが新しい発見の毎日です。アルミ製品の知識も広げながら、今は与えられたプランの提案用スケッチに取り組んでいます。これからマスターする御庭番に期待をふくらませています。



代表取締役 近藤 利則様

わが社はハウスメーカーさんやゼネコンさんの仕事が多く、御庭番が誕生した当初から導入して、充実したプレゼンテーションをすすめ、お客様のニーズにお応えしてきました。若い設計スタッフだけに、私とともども日々の発見を楽しみながら、切磋琢磨に努めています。

三協アルミ